

トマトのアザミウマ類による 白ぶくれ症果が増加

～被害防止のため防除を徹底しましょう～

1 現在までの発生状況と今後の発生予想

トマト防除適期決定ほ（北秋田市）における青色粘着板へのアザミウマ類の誘殺数は、7月1半旬以降平年を上回って推移し、7月2半旬は396頭（平年187頭）で多かった（図－1）。

7月中旬の巡回調査（4地点）における被害果率（白ぶくれ症果、図－2）は0.48%（平年0.04%）で高かった（図－3）。

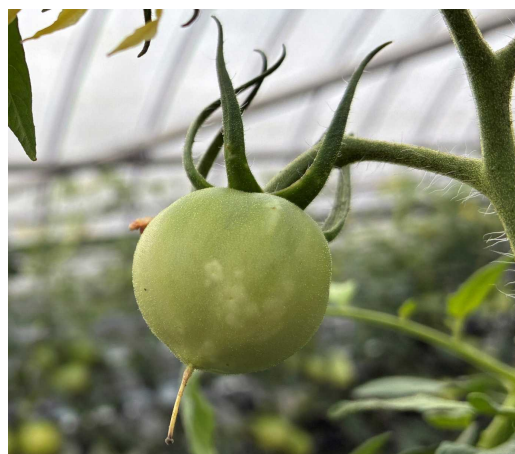
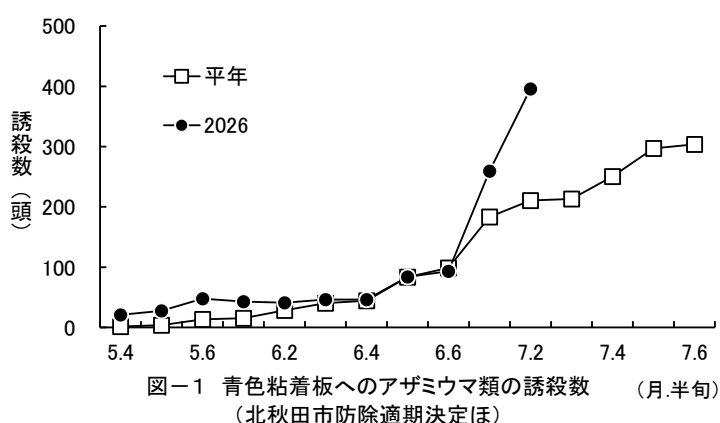
7月9日に仙台管区气象台から発表された東北地方1か月予報では、向こう1か月の気温は高いと予報されている。

以上のことから、今後もアザミウマ類による白ぶくれ症果の増加が懸念されるため、以下の対策を行う。

2 防除対策

- 1）ほ場周辺の雑草は、アザミウマ類の増殖源となるため除草を徹底する。
- 2）防虫ネットを展張しているハウスでは、ハウスへの出入り時の扉の開閉は素早く行うよう努める。
- 3）薬剤は花房に付着するよう丁寧に散布する。
- 4）害虫の薬剤抵抗性の発達を回避するため、RACコードの異なる薬剤をローテーションして散布する（表－1）。

3 資料



図－2 白ぶくれ症果

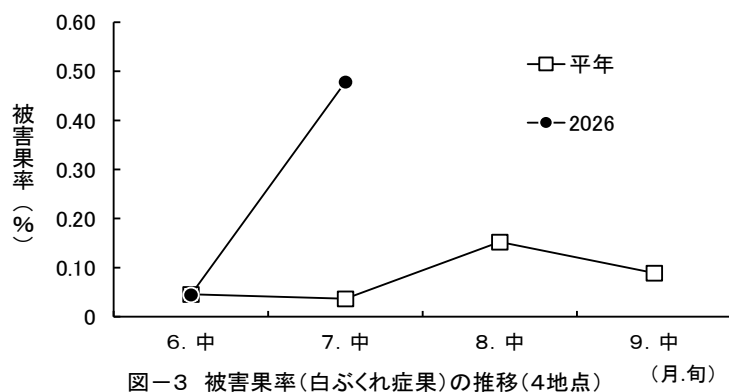


表-1 トマトにおけるアザミウマ類の防除薬剤

RAC コード	農薬名	希釈倍数 〔散布液量〕	使用時期	使用回数
3A	アーデント水和剤※	1,000倍〔150～300L〕	収穫前日まで	3回以内
4A	ベストガード水溶剤	1,000倍〔150～300L〕	収穫前日まで	3回以内
	モスピラン顆粒水溶剤	2,000倍〔150～300L〕	収穫前日まで	3回以内
5	スピノエース顆粒水和剤	5,000倍〔150～300L〕	収穫前日まで	2回以内
13	コテツフロアブル※	2,000倍〔150～300L〕	収穫前日まで	3回以内
15	カスケード乳剤※	2,000倍〔150～300L〕	収穫前日まで	4回以内
	マッチ乳剤	2,000倍〔150～300L〕	収穫前日まで	4回以内

※害虫名「ミカンキイロアザミウマ」での登録

【 問合せ先 】

秋田県病害虫防除所 TEL 018-881-3660
秋田県農業試験場 TEL 018-881-3326
掲載HP <https://www.pref.akita.lg.jp/bojo/>